

## 〔課程博士〕 (博士論文審査及び最終試験の結果要旨)

学生氏名：ファウズィ イクサン アハマド

博士論文題目：Studies on effect of dietary arginine, ornithine, and citrulline supplementation on postprandial plasma amino acids, arginine catabolism and resistance to *Vibrio anguillarum* of rainbow trout *Oncorhynchus mykiss* (ニジマスにおける飼料アルギニン関連物質の血漿アミノ酸、アルギニン代謝および抗病性に及ぼす影響に関する研究)

博士論文審査： 学生から提出された博士論文について、公開発表会が2月16日に行われ、審査委員と学生の間で質疑応答が繰り返され、アルギニン関連物の食事後の血中動態を観察することにより内在性のアルギニン合成能の高低を推測することが可能であることならびにビブリオアンギュラム感染への抵抗性が高まることを見出しており、博士論文としての質を十分に確保しているとの結論に至った。特に、第三章についてはシトルリンがアルギニンの前駆物質となりえることを証明しており各審査委員から高い評価を得た。

最終試験の結果要旨：最終試験は2月16日に行われた。審査委員一同出席の下、学生に対して、博士論文の内容について最終確認のための質疑応答を行い、その内容は十分であった。一方、専門知識については公開発表会当日の質疑応答時や予備審査時でのディスカッションを含め十分であると審査委員一同確認した。

学術論文は1編が第一著者として公表済み(**Fauzi IA**, Haga Y, Kondo H, Horono I, Satoh S.: Effects of arginine supplementation on growth performance and plasma arginine, ornithine and citrulline dynamics of rainbow trout, *Oncorhynchus mykiss*. Aquaculture Research 50, 1277-1290)であることを確認した。

学術論文は英語で書かれており、かつ、国際会議において英語で発表しており、外国語の学力については問題ないと判断した。

また、講演発表は国際会議1回、国内学会3回で発表していることを確認した。

合同セミナーについて、規定の学習時間および出席回数を満たしていることを確認した。

大学院海洋科学技術研究科が指定した研究者倫理教育を修了していることを確認した。